

杏林大学大学院保健学研究科
平成26年度在学生の研究報告会・論文発表会・特定の課題についての研究報告会プログラム

12月18日(木) 8F大会議室

在学生の研究報告:修士は発表10分、質疑7分(計17分)／博士は発表15分、質疑10分(計25分)

論文発表:修士は発表15分、質疑10分(計25分)

特定の課題に関する研究報告:発表15分 質疑応答10分(計25分)

論文発表者

時間	演者	分野	指導教員	題名	座長	
大瀧研究科長 開会の辞						
9:00-9:17	保修2S	清水 夏生	リハビリテーション科学	齋藤(昭)教授	回復期脳卒中入院患者における入院中の身体活動量の実態および関連要因に関する研究	八並教授
9:17-9:42	保博2S	鈴木 優喜子	リハビリテーション科学	下田教授	AMPSはMMSEやADL・IADL量的評価で捉えられない認知症者の特徴を捉えることができるのか	八並教授
9:42-10:07	保博2S	澁井 実	リハビリテーション科学	下田教授	統合失調症患者における手の心的回転課題遂行能力と精神症状・認知機能・社会生活能力との関連	八並教授
10:07-10:32	保博2S	原田 祐輔	リハビリテーション科学	下田教授	脳卒中片麻痺患者における手の心的回転課題遂行能力の検討 - 損傷半球により反応時間と正答率に差異はあるか -	八並教授
休憩						
10:40-11:25	保博2S	田村 陽介	臨床検査・生命科学	川澄教授	ab initio計算によるパニロイドの立体配座と反応性に関する研究	岡田教授
11:25-11:50	保博4S	三宅 英司	リハビリテーション科学	八並教授	バドミントン選手の傷害に関する縦断的傷害調査と傷害に影響を及ぼす身体的要因の検討	八並教授
昼休み						
特定の課題に関する研究報告(看護学専攻の専門看護師教育課程在籍者)						
13:00-13:25	看修4S	岩田 多加子	実践看護学	浅沼教授	AYA世代のがんサバイバーにおけるリエゾナーズの役割 ～我が国におけるがんサバイバーの研究動向から～	中島教授
13:25-13:50	看修4S	吉田 信子	実践看護学	浅沼教授	患者－看護師関係における看護師の陰性感情と精神看護専門看護師の役割に関する研究 ～わが国における身体科領域および精神科領域の看護研究の動向より～	中島教授
13:50-14:15	看修4S	松村 康平	実践看護学	中島教授	終末期がん患者・家族の意思決定に必要な看護支援に関する研究	浅沼教授
休憩						
14:25-14:50	保修4S	五十嵐 友	臨床工学	副島教授	血液透析における実血流量測定法に関する実験的研究	四倉教授
14:50-15:07	保修2S	山内 大輔	臨床工学	副島教授	血液透析における抜針検知システムに関する検討	四倉教授
15:07-15:24	保修2S	古関 正俊	臨床工学	嶋津教授	治療用レーザー至適照射システム構築の検討	四倉教授
15:24-15:49	保博2S	水島 岩徳	臨床工学	嶋津教授	NPPV(非侵襲的陽圧換気療法)における気流動態に関する研究	四倉教授
15:49-16:14	保博4S	島田 正亮	保健学	大瀧研究科長	児童養護施設における児童の措置変更に関する要因と措置変更が職員に与える心理的影響の検討	川村教授

三鷹中継